

8-4-21 設計ソフトウェア連絡WG

いるエラー事例の保守と新たな事例等の追加

1. 主な活動の記録

(1) 組織

道路構造物専門委員会 4名、道路専門委員会 1名、河川構造物専門委員会 1名より構成。

(2) 「設計ソフトウェアについてのアンケート」の実施

設計ソフトウェア連絡WGにおいては、エラー防止対策の一環としてソフトウェアの提供者であるソフトウェア会社とそれを利用する建設コンサルタント協会が、相互が抱える課題を認識し、双方の品質の確保・向上を図ることを目的としている。

ソフトウェアのバージョンアップ等があったことから、一昨年の活動と同様に、道路構造物、道路及び河川構造物専門委員会の構成会社から、「設計ソフトウェアの入力に関わるエラー事例」をテーマにアンケート調査を行い、エラー事例等を収集し、ソフトウェア会社に回答を依頼した。

また、新たに部分係数法が導入された道路橋示方書等、設計基準の改訂に伴い、従来の設計ソフトウェアから入・出力、設計手法等が大幅に更新された。

そのため、ユーザー側である建設コンサルタントとして、設計ソフトウェアの扱いに、十分に慣れていない面も考えられたことから、今年度は、前述のエラー事例等のアンケート調査に加え、主に入・出力に関する要望の調査を同時に行い、ソフトウェア会社へ要望・改善提案を行った。

2. 次年度の活動について

令和元年度も以下の活動を継続的に実施する。

- ① 設計ソフトウェアに関する課題収集と整理・分析
- ② ソフトウェアに関するアンケート結果、改善提案を踏まえたソフトウェア会社との意見交換の実施
- ③ 協会ホームページへアップロードされて

(設計ソフトウェア連絡WGWG長 山下 智康)